



比奈知ダム産の薪を配布しました!

10月5日(日)、比奈知ダムで製作した薪の一般配布を行いました。事前に比奈知ダムHPや広報なばり、伊賀のタウン情報誌でお知らせしたところ、予定数を上回るお申し込みを頂き、当日は、倉庫に山積みにして準備していた薪も次々と運び出されていきました。

この薪を製作してお配りすること、そしてご利用いただくことも環境のための活動の一環です。比奈知ダムにも薪の希望者にも環境にも嬉しいそのエコな点をご紹介します。



配布前の山積みの薪



10月5日の配布後



10月5日の薪配布の様子

資源リサイクルとして

比奈知ダムで配布する薪は、出水等で比奈知ダム貯水池に流れこんできた流木や、周辺の環境維持活動で生じた伐採木などをリサイクルして製作しました。

環境保全として

お配りした薪は、薪ストーブやお風呂等の燃料として利用されるそうです。薪のような植物由来の燃料を使用することは、その植物の成長過程での吸収量と、焼却による排出量が相殺され、大気中の二酸化炭素の増減に影響しないと考えられ、カーボン・ニュートラルと呼ばれています。これは、地球温暖化防止のための重要なキーワードとなっています。

流木薪ができるまで



① 台風で発生した流木



② 流木陸揚げ作業



③ 流木集積状況



④ 玉切り作業

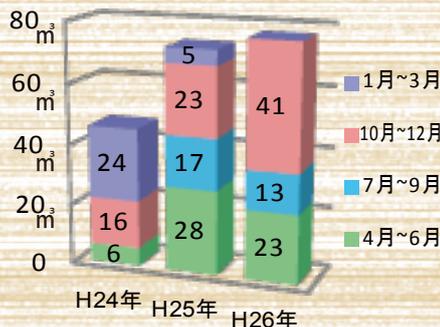
コスト縮減として

比奈知ダムに流れこむ流木は、左の写真(③)流木集積状況のようにたいへんな量になります。これだけの量を処理する場合、処理や運搬にかかる費用は膨大になります。しかし、薪に玉切りして配布した場合、処理と運搬は薪の希望者が行うことになるため、比奈知ダムにかかるコストは縮減になります。一方、薪の希望者も、運搬コストはかかるものの、薪自体は無償のため、コスト縮減に役立っているかと思えます。



カーボン・ニュートラル

環境中の炭素(二酸化炭素)を増減させずに循環している状態



左図は平成24年度から3年間の比奈知ダムでの薪配布量のグラフです。例年10月から配布量が増え始め、11月、12月が配布のピークですが、今年度は10月5日に日曜配布を実施したため、まだ10月にして過去2年の配布量を上回りました。比奈知ダムでは、これからもますます、リサイクル・コスト縮減・環境保全を進めていきます。

この新聞は、『少しでも環境に優しくできることはないか』と考え、『できることからやってみよう!!』と、私達が取り組んでいることを自己啓発も兼ねて皆さまに紹介しています



独立行政法人 水資源機構 比奈知ダム管理所
〒518-0412 三重県名張市上比奈知字熊走り1706
【TEL】0595-68-7111 【FAX】0595-68-7114



【PC】 <http://www.water.go.jp>
【携帯】 <http://kokoten.com/u1/hinachidam/>
※ご利用には通信料が必要です